Ⅳ　家庭教育支援活動の実践事例

◇近江八幡市・・・・・・・・・・・・Ｐ１７４

◇甲賀市・・・・・・・・・・・・・・Ｐ１７７

◇東近江市・・・・・・・・・・・・・Ｐ１７８

◇日野町・・・・・・・・・・・・・・Ｐ１７９

◇竜王町・・・・・・・・・・・・・・Ｐ１８１

◇アンケート調査・・・・・・・・・Ｐ１８２

「保護者の子育てや家庭教育に関する意識調査」

学習講座・行事等の実施　【近江八幡市】

１【ねらい】

子育てで悩む保護者の一助となる教育相談、講演会、座談会などを開催し、子育てへの不安や悩みを解消する。

２【概要】

＊日時・場所・対象・参加者数・講師等

10 月 15 日(土)　老蘇小学校　PTA　25 名
講師　岡田　さよ子　さん

10 月 19 日(水)　島小学校　PTA　60 名
講師　中江亜希子さん

11 月 25 日(金)　岡山コミセン　５名
保護者同士による座懇談

12 月 6 日(火)　沖島小学校　PTA 教職員
13 名　講師　堀内　了賢さん

12 月 13 日(火)、14 日(水)　北里小学校
PTA 対象　24 名　講師　日本種苗協会、今井　佳代子さん

1 月 14 日(土)　安土小学校　PTA　42 名
保護者交流

1 月 24 日(火)　沖島小学校　PTA　４名

３【参加者の感想】

・具体的でとてもわかりやすかった。
・うなづく場面がたくさんあり自分の子育てのあり方を考えた。
・講演を聞いて、これまで以上に子どものことを考えようと思った。
・３人兄弟の真ん中の子育てについて今日聞いた話のように、課題のある育て方をしていたと感じ相談をしなければと思えた。
・ふだん家を出る機会があまりないので、今回の「あっとほーむるーむ」の会は気軽に参加でき、学年や地区の違うお母さん達ともお話ができて、とても参考になりました。また是非、次回参加したいと思います。
・先生の話は、お子さんの産まれた時の状況から始まりました。自分の出産の時の事等も走馬燈のように頭に浮かびました。「元気に生まれてきただけで」という思いが、段々欲が出て、あれもこれもできないと怒る。そんな毎日を反省するきっかけにもなりました。そして、人のつながりって、本当に大切だなと改めて思いました。いろいろな人に支えられて、自分も子ども達も生きている。その幸せに感謝し、また子ども達にもそのことを伝えていければと思います。

４【事業の成果と今後の課題】

今年度から家庭教育支援活動の取組みをコーディネーターを中心に行っている。保護者にビラを配布したり子育てで悩んでいる家庭の教育相談や座談会を実施したりしたが、この取組みの趣旨が十分周知されていないようであった。また、座談会や教育相談することが本当に有効なのか、実績が未知数のため安心して相談できるか等の迷いが保護者にあったと感じた。

一方、子育て講演会の開催で分かったことは、子育てや家庭教育の悩みを持っておられる保護者の具体的な悩みやどんな保護者も大小にかかわらず悩みや相談事項をもっておられることが把握できた。

こうした取り組みを市内全体に広げていく体制を整えたい。

地域人材の養成　【近江八幡市】

１【ねらい】

地域課題や現在の家庭教育の課題を経験上での理解に留めるのではなく､研修を通して、より客観性を持った視点で現状を見ることができる力をつけたい。また、さまざまな課題に対して適切な方法や関係機関との連携、人材の紹介と発掘等ができるよう、必要な知識と技能を身につけさせたい。

家庭教育の向上に必要な講座や研修のあり方を計画し学校やＰＴＡにも提案できる力をつけることをねらいとする。

２【概要】

＊日時・場所・対象・参加者数・講師等

第１回近江八幡市家庭教育推進協議会（7 月 28 日　17:30～19:20　15 名　市役所）

第２回近江八幡市家庭教育推進協議会（12 月 22 日　19:30～21:30　14 名　市役所）

第 1 回家庭教育支援コーディネーター研修会（6 月 17 日　10:30～12:00　６名　市役所）

第 2 回家庭教育支援コーディネーター研修会（10 月 24 日　10:30～12:00　７名　市役所　講師：細野道子さん）

第 3 回家庭教育支援コーディネーター研修会（11 月 24 日 10:00～11:00　６名　市役所）

３【講座の企画運営で工夫した点】

・ 今年度は事業実施 1 年目であるため、学校配置のコーディネーターの力量アップを主眼に取り組んだ。
・ 学校間での温度差やコーディネーターの抱える問題点を出し合う中で、方向性や取組重点を確認した。
・ 子育てのモデルとなる著名人の講師を招聘し、意欲の向上につなげた。

４【参加者の感想】

・ 情報交換する中で、地域間の教育の差を確認でき参考になった。
・ 自分だけが悩んでいるのではないことが分かり互いに連携することが大切である。
・ 率直な意見や考えが聞けてよかった。
・ 細野さんのお話は子育てへの意欲につながった。

５【受講者の今後の活動について】

・ 地域での家庭教育や子育てに関する課題をさらに明らかにし、取組みの実践を深める。
・ 学習会や講演会の企画運営に終わるのではなく、保護者のニーズに見合った取組みに高め、地域の保護者間の連携に取り組む。
・ 保護者の状況を地域の視点から捉え、学校との連携を深める。

家庭教育支援チームの設置・活動　【近江八幡市】

1【家庭教育支援チームの構成】
- 地域コーディネーター
- 子育てリーダー
- 民生委員・児童委員
- ＰＴＡ役員

2【活動の範囲】

島小学校
沖島小学校
岡山小学校
北里小学校
武佐小学校
安土小学校
老蘇小学校

3【活動範囲の児童数】

島小学校	１１１名
沖島小学校	１０名
岡山小学校	２７１名
北里小学校	２９５名
武佐小学校	１９６名
安土小学校	５３９名
老蘇小学校	１３８名

4【家庭教育支援チームの活動概要・特色】
- 校内家庭教育の情報を収集する。
- PTA、教育相談担当教師に情報を伝え、既存の事業に反映させる。（講演会、学習会・座談会などの開催、適切な関係機関の紹介など）
- 情報を学校や家庭教育推進協議会など連携機関に伝える。
- 校区のコミュニティーセンターの子育てサポーターとの連携を行う。
- 悩み相談への対応を行う。

5【活動の成果】
- 学校づくりの土台は家庭であるという認識のもと、家庭教育の重要性を市内全体で共有化する体制が、徐々にできあがりつつある。
- 学校・地域・家庭が一体となって学校づくりを支援する体制・・・支援本部との連携がとれた。
- 子育てに悩む保護者との距離がコーディネーターの取組みにより狭まった。

6【今後の課題】
- 今年度から始まった取り組みのため、保護者へのコーディネーターの役割を十分に周知できなかった。そのため学習会・教育相談・座談会への参加は多くなかった。コーディネーターの存在すら知らない保護者もいた。今後は広く役割や事業の周知を行っていく必要がある。
- 支援活動に関心のある方や協力していただける地域の方々をどんどん増やしていく必要がある。

7【チーム員より】
- 今年度は最初の年ということもあって、何から始めたらよいのかわからなかった。学校やPTAの協力のもと少しずつ取組みを始めた。
- 学習会等の開催はできたが、訪問や子育てに悩む保護者をまとめることは十分に取り組めなかった。次年度はさらに取り組みを深めたい。

学習講座・行事等の実施　【甲賀市】

１【ねらい】

保育園や幼稚園の保護者参観日などの親が集まる機会に、家庭教育とはどんなものか、その大切さ、親子のきずな、こどもとのふれあいの楽しさなど伝える場として実施。親が自分自身を見つめなおし、子どもと共に学び育つ講座を提供する。

２【概要】

・６月１６日（木）岩上保育園（　４５人）
　演題「だいじなからだ　だいじないのち」
　講師　斎藤　智孝　氏（助産師）
・６月２４日（金）伴谷保育園（　８０人）
　演題「子どもたちの心に絵本の種を」
　講師　大舩　めぐみ　氏

・１０月２２日（土）、１１月２６日（土）
　貴生川保育園（１４２人）
　演題「体を使った親子遊び」
　講師　小澤　かおり　氏

・１月１７日（火）甲賀北保育園（　５０人）
　演題「子どもが育つ　とき・こころ」
　講師　三原　透　氏（滋賀県学校心理士）

※その他、市内保育園･幼稚園１２園で実施。
（のべ約１２００人の保護者が参加）

３【参加者の感想】

・生まれてきてくれた事を改めて喜べる機会がもてました。
・ひとつの命の大切さを感じ、子育てに前向きに感じることができました。
・一緒にふれあう時間を増やし、子どもをほめてあげたいと思いました。

（岩上保育園保護者アンケート）

・いつもあわてて読んでいるので、自分自身も楽しみながら、子どもに読んであげたいと思いました。
・言葉をかける事の大切さに気づきました。
・絵本を通して子どもの世界が広がればと思います。

（伴谷保育園保護者アンケート）

・子どもがとても嬉しそうな顔をしていたので、家でもやってみようと思いました。
・今後もっと意識して子どもとふれあっていこうと思います。
・狭いスペースでも子どもと体を使って遊べる方法を教えてもらって良かった。
・公園に行っても、見守っているだけの事が多いので、一緒に遊べて子どもが楽しそうでした。

（貴生川保育園保護者アンケート）

４【事業の成果と今後の課題】

今年度は、１７園で開催することができ、参加した保護者からは好評を得た。

保育園・幼稚園に入園すると、親と過ごす時間が限られてくるなか、いそがしい時間の合間でも、子どもの目をみて話すことの大切さは、どの講座でも伝える事ができた。今後も、いのちの大切さや、ふれあうことの楽しさを伝え、期待や反省を何度繰り返しても、前向きな気持ちで子育てをする親を、応援していく講座にしていきたい。

学習講座・行事等の実施　【東近江市】

１【ねらい】

近年、社会の多様化に伴い、家庭の教育力の低下が指摘されるなど、社会全体での家庭教育支援の必要性が高まっている。

そこで、家庭で親子が共に学ぶことができるよう、親自身が家庭教育の意義や役割を学習するための親の学び・家庭教育支援事業を実施し、家庭の教育力向上を目指す。

特に、ＰＴＡを中心として親の学びを支援する研修会などが数多く開催されていることから、それらの研修会に無関心の人を、学びの場に取り込めるような工夫がなされた事業を展開することを目的とする。

２【概要】

上記趣旨に合った研修会の実施を市内各幼稚園・学校・社会教育施設に呼びかけ、実施希望のあったところに本市の家庭教育支援コーディネーターが調整・支援をすることで事業を実施し､成果を広く報告することとした。

３【実践と参加者の感想】

・短時間（30 分程度）の学習会

平田幼稚園では授業参観（ふれあい活動）の合間の短時間を利用して学習会を実施した。

なお、このような短時間の学習会の講師をしていただく方を「ちょこっと講師」として現在３名の方に登録していただいている。

・親子参加型の学習会

湖東第二小学校では、市内の読書ボランティアの協力を得て､「えほんひろば」を３日間開催したが､その中で授業参観の時間を設け､その中で読書ボランティアの方から絵本のすばらしさや絵本を通してのふれあい方などを親子で学んだ。

・サロン型の学習会

蒲生北小学校では、教育相談担当の先生が中心となり、授業参観後、気軽に寄れる場所を設定して、子育ての悩みなどを語り合えるサロンを開催した。

・一工夫して広く公募する研修会

五個荘中学校では、幼稚園から中学校までの地域の保護者が一同に集まる教育講演会を開催した。地域の社会教育施設を利用したことにより、だれもが行きやすいように工夫した。

能登川第二幼稚園では、祖父母参観後に講演会を開催して、保護者と祖父母が一緒に学ぶ機会を作った。実際には、祖父母の参加が多かった。食育の話で早速家庭で実践できると感じた人も多かったようだ。

・広報・啓発活動

市内２３の幼稚園ＰＴＡの研修担当者を一堂に集めて、ＰＴＡ幼稚園情報交換会を実施した。「ちょこっと講師」の方による短時間の学習会と、語り合いを通した学びあいを体験してもらった。アンケートには､「いい話が聞けて、思いも喋れてよかった」という感想が多く寄せられた。

４【事業の成果と今後の課題】

従来の学習会に参加されない方でも参加してもらえそうな実践をいくつか展開でき、これらを広めることで、より一層家庭教育が推進されると期待できる。ＰＴＡと連携して進めたが、学校の先生や地域の人から家庭教育を進める動きが出てきており、いろんな所で気軽に学べるように各団体・施設が連携して取り組むことが大切である。

学習講座・行事等の実施　【日野町】

１【ねらい】

幅広い年代の方に、子育てに関する講座を聞いていただくことで、現在子育てをしている家庭はもちろん、地域全体の子育てへの意識を高めることを目的としている。

２【概要】

幼稚園、就学前健康診断、企業・事業所等に向けて子育てに関する出前講座を実施した。

講座名	対象	日程	開催場所	参加者	講師
幼稚園井戸端学習会	幼稚園に通う児童の保護者	10月4日	桜谷幼稚園	20名	鹿田由香　氏
		10月6日	必佐幼稚園（4歳）	15名	
		10月11日	必佐幼稚園（3歳）	10名	
		10月18日	日野幼稚園（3歳）	20名	
		10月25日	南比都佐幼稚園	15名	
		10月27日	日野幼稚園（4歳）	15名	
		11月1日	西大路幼稚園	10名	
		11月15日	必佐幼稚園（5歳）	15名	
		11月22日	日野幼稚園鎌掛分園	10名	
		12月8日	日野幼稚園（5歳）	15名	
就学前学習講座	来年度より就学予定の児童の保護者	10月20日	日野小学校	90名	滋賀県生涯学習課 岩脇俊博　氏
		10月28日	南比都佐小学校	20名	千葉栄介　氏
		11月15日	西大路小学校	10名	
		11月18日	桜谷小学校	15名	
企業向け子育て・家庭教育出前講座	各企業・事業所等の社員、職員	9月22日	日野町社会福祉協議会 ひだまり事業所	30名	鹿田由香　氏
		10月20日	県立老人ホームさつき荘	20名	
		12月7日	JAグリーン近江	90名	
		12月12日	近江ヒルズゴルフ倶楽部	10名	
		12月19日	日野消防署	50名	

幼稚園では、園児降園予定時間の３０分前に保護者に集まっていただき､｢気楽に子育てを」というテーマで講演を行った。就学前学習講座では児童が健康診断に回っている間の１時間を活用し｢子どもとの対話｣について、企業向け出前講座では各企業の終業後などの１時間を活用し「今時の子育て事情」について、それぞれ講演を行った。

３【参加者の感想】

・子どもと親でも相性がある、という話に少しホッとした。
・最近の子育ては昔の子育てと違ってきている。今の子育ての様子や保護者の考え方を知ることができ、いい機会になった。
・まだ子育てを経験していないが、大変な仕事であると感じた。よく街中で見かける親子に対しての見方、考え方を変えていきたい。

４【事業の成果と今後の課題】

子育てをしている保護者にとっては、子育てについて少し振り返っていただく時間になると同時に、辛さや難しさに共感し、少し安心していただける時間になったと思われる。子育てを終えた方、まだしていない方にも、子育て家庭の大変さ、外出先でのしんどさなどを知っていただく機会になった。これらを知ることにより、地域全体の子育てへの意識が高まることが期待される。

課題としては、幼稚園での講演では小さい子どもを連れて参加されていた保護者が多かったことから、保育スタッフの充実が挙げられる。また、企業向けの講座では子育て未経験の参加者が多かったことから、講演内容の工夫が要される。働きやすい職場づくりと｢子育て支援」との関連付けや、職場内のコミュニケーションの一つとしての「子育て支援」など、子育て経験の有無に関わらず､｢子育て支援」への関心をより深めていただける働きかけを考えていきたい。

家庭教育支援チームの設置・活動　【日野町】

１【家庭教育支援チームの構成】

福祉課・保健センター・保育所・
学校教育課・生涯学習課
日野町子育て教育相談センター
地域子育て支援センター
社会福祉協議会　など　計１０名

２【活動の範囲】

日野町内

３【活動範囲の児童数】

約１，２００人

４【家庭教育支援チームの活動概要・特色】

チームで協力して、子育て応援通信を年４回発行し、町内におけるあらゆる子育て情報を提供している。

就学前の親子を対象に月２回、家庭教育支援事業を実施している。子育てサポーターの協力を得ながら事業を運営し、参加者からの相談への対応、歌や手遊び、色紙等を使っての飾り作りなどを実施し、子どもと楽しく触れ合う手段を紹介することで、親子の良い関係づくりを心掛けている。参加する親子とのふれあいを重ねることで信頼関係を築き、気軽に相談できる場を提供している。

親子で安心して参加できる事業としてチームで協力し今年度初めて、「ちびっこまつり」を開催した。チームに関わる団体はもちろん、町内にある家庭教育支援に関わる多くのボランティア団体に協力いただき実施することができた。

５【活動の成果】

家庭教育支援事業の場が、参加者にとって雑然とした居場所からチームでの活動を通じて保育士や心理士などに関わっていただくことにより、集団的でメリハリのある居場所になってきた。

チームとしての活動が徐々に定着し、お互いの協力体制がより進んできた。また、子育て応援通信の編集を通じて、お互いの事業の状況も理解することができ、協力しやすい状況ができてきた。

６【今後の課題】

地域活動等への参加が少ない親子への支援が課題である。新たな支援の場を探っていくと共に、既存の事業が参加者にとって身近でより開けたものとなるような取り組みが必要。

サポーターとして活動いただける方の発掘と育成を進め、安定した体制での事業実施が大きな課題と考えている。

チームでの連絡会議が現在２ヶ月に１度程度であり、もう少し緊密な連絡調整の場が必要。

７【チーム員より】

各事業への参加する親子の様子を見ていると、一番嬉しそうなのは、友達と遊んでいる時である。多くの親子が安心して参加し、気軽に出会い刺激を受けることのできる場の提供を、今後もしっかりと継続していきたい。

学習講座・行事等の実施　【竜王町】

１．【ねらい】

子どもたちの夢や希望を育み、親が育つために、滋賀県ＰＴＡ連絡協議会東近江ブロックと竜王町ＰＴＡ連絡協議会が連携して、子どもたちの学力や体力を向上にむけた家庭の役割について考える「教育フォーラム」を開催し、互いの情報交換を行い、地域・関係団体との連携を深める中で、家庭の教育力、ひいては地域の教育力の醸成を図ることをめざす。

２．【概　要】

・主催：滋賀県ＰＴＡ連絡協議会
　東近江ブロック
　竜王町ＰＴＡ連絡協議会
　竜王町教育委員会
　竜王町公民館
・主管：教育フォーラムＩＮ竜王
　2011実行委員会
・後援：
　滋賀県教育委員会・近江八幡市教育委員会
　東近江市教育委員会・日野町教育委員会
・日時：平成２３年１１月２３日（祝）
　１３：３０開演
・場所：竜王町公民館　ホール
・対象：東近江管内（竜王町・近江八幡市・日野町・東近江市）のＰＴＡ関係者、教職員　一般住民
・内容：
・オープニングアトラクション
　竜王キッズクラブ「和太鼓」
・事例発表
「子どもたちの生きる力をはぐくむ竜王小学校ＰＴＡの取組」
　竜王小学校ＰＴＡ
・記念講演
「子どもたちの学力を育むための家庭の役割」
環太平洋大学学長　梶田　叡一　氏

（竜王小学校ＰＴＡの発表の様子）

（梶田叡一氏の記念講演の様子）

・参加者数

竜王町	１３０名
近江八幡市	７８名
東近江市	６８名
日野町	４３名
その他	５名
合計	３２４名

３．参加者の主な感想

・子どもの学力向上に向けた家庭の役割がどういうものかについて考えさせられた。
・子どもへの接し方について筋を押さえてしっかりと話されたので、親育ちの勉強として有意義な時間であった。

４．事業成果と今後の課題

共通課題を考える各団体、機関と共催することにより、多くの参加者を得ることができた。

今後は、参加者自らの活動につなげていけるよう、シンポジウム形式で意見交換のできるように内容を検討する必要がある。

「保護者の子育てや家庭教育に関する意識調査」実施要項

１ 目的

子育てや家庭教育に関するアンケート調査を行うことにより、現在までの家庭教育支援事業の効果検証とその分析、今後の事業推進のための基礎資料とする。

２　調査の概要

（１） 調査項目：「保護者の子育てや家庭教育に関する意識調査（アンケート）」
（２） 設 問 数：６問

３　調査の内容

（１） 調査地域：平成２３年度学校・家庭・地域の連携による教育支援活動促進事業における家庭教育支援チームが活動している市町の小学校を対象に調査を依頼する。（２市町２小学校）
（２） 調査対象：調査依頼小学校の２年生全保護者（近江八幡市、日野町各１小学校）
（３） 調査項目：別添の調査票により実施市町における保護者の子育てや家庭教育に関する意識調査
（４） 調査期間：平成２４年１月１６日（月）～1月２５日（水）

４　調査の方法

【市町教育委員会】

① 市町教育委員会事務局生涯学習課より、実施小学校へ調査依頼
② 調査終了後、回収された調査票を取りまとめ、県生涯学習課へ送付

【対象となる小学校】

① 保護者宛に、依頼文、調査票、返信用の封筒を配付
② 各家庭で記入の後、調査期間後に小学校で回収し、市生涯学習課へ提出

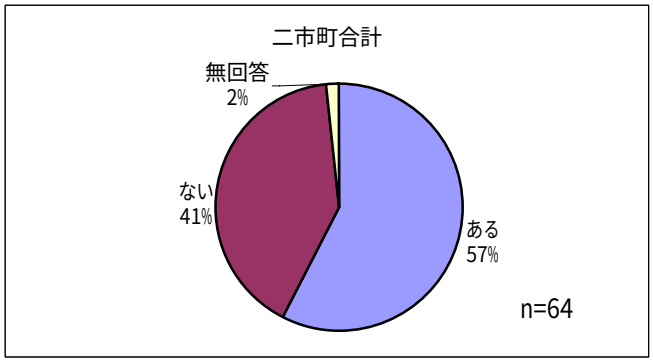
５　調査結果の報告

調査のまとめとして、統計データ等を事業報告書にまとめて掲載し、発行

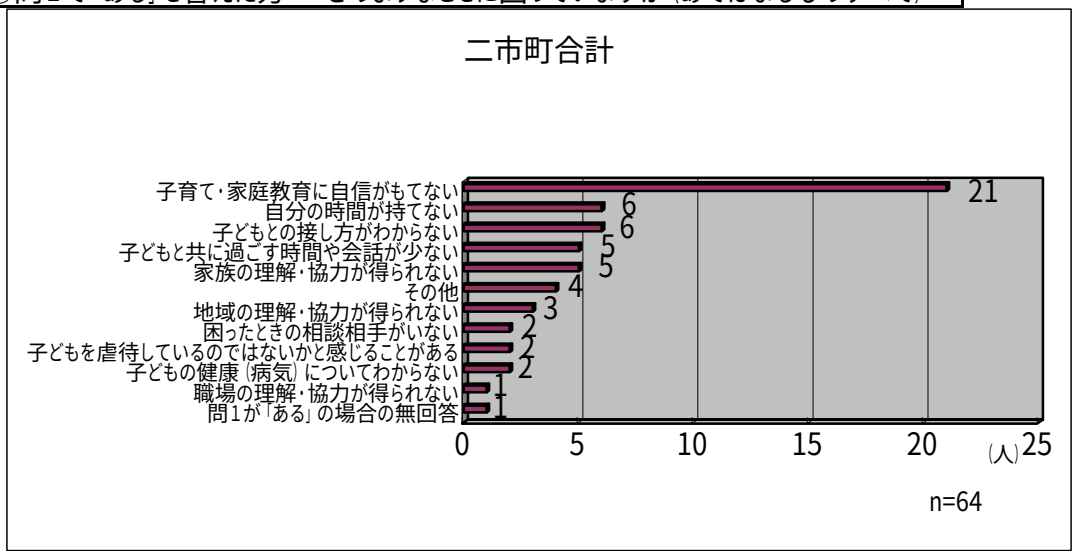
保護者の子育て・家庭教育に関する意識調査（アンケート）結果集計

問1　子育て･家庭教育について、あなたは、困ったことがありますか

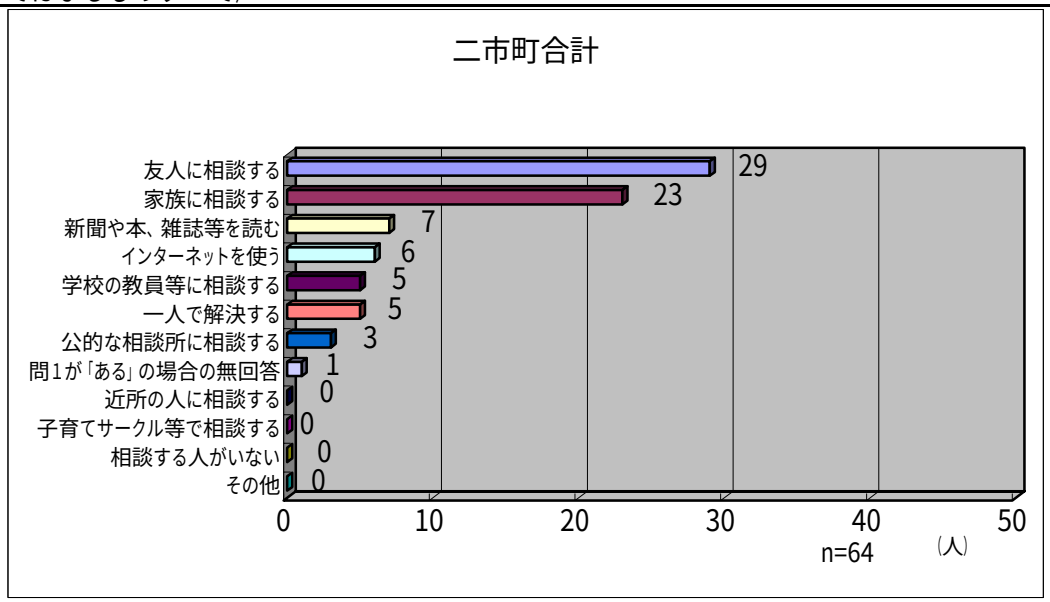
二市町合計



①問1で「ある」と答えた方　どのようなことに困っていますか（あてはまるものすべて）

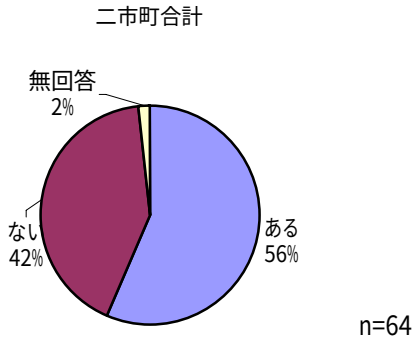


②問1で「ある」と答えた方　子育て･家庭教育について困ったとき、主にどのようにしていますか（あてはまるものすべて）

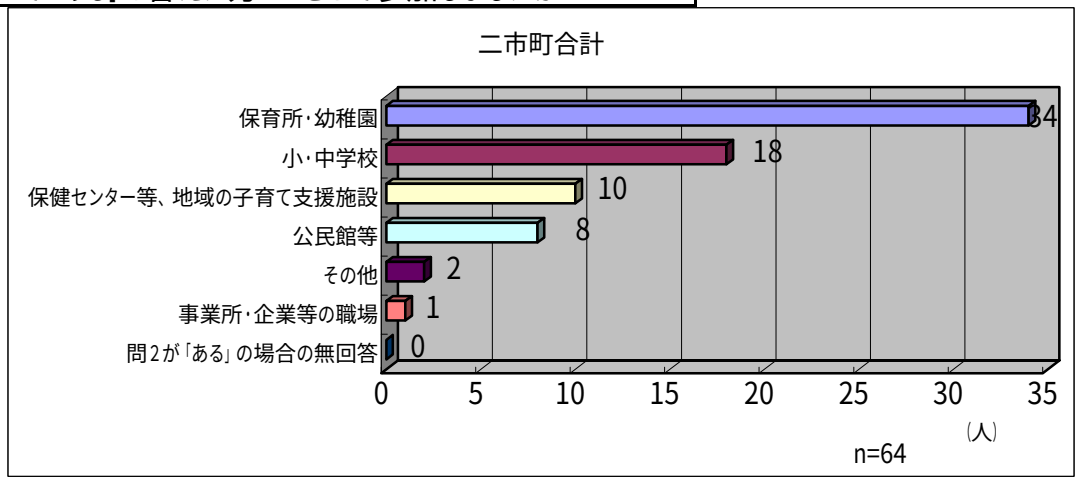


二市町合計

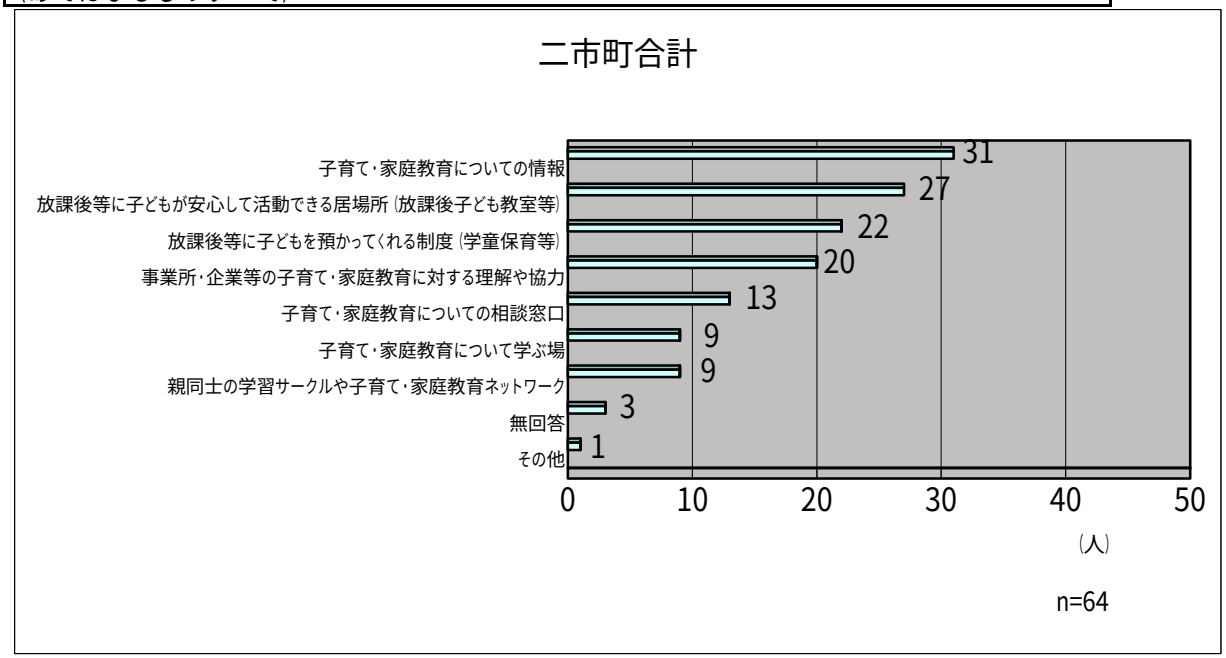
問2　子育て･家庭教育に関する講座や講演会に参加したことがありますか



問2で「ある」と答えた方　どこで参加しましたか

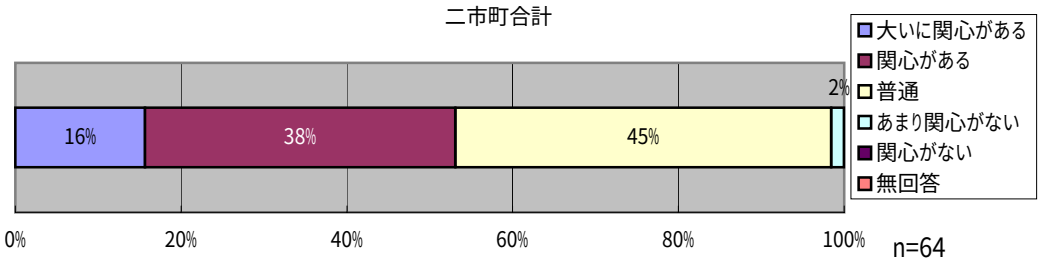


問3　子育て･家庭教育を充実させていくために、どのようなことが必要だと思いますか（あてはまるものすべて）

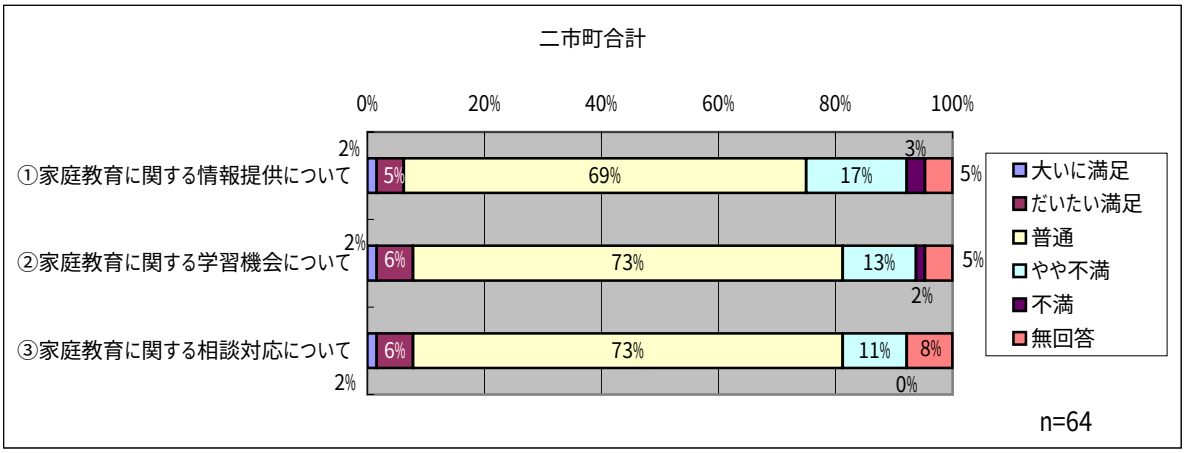


二市町合計

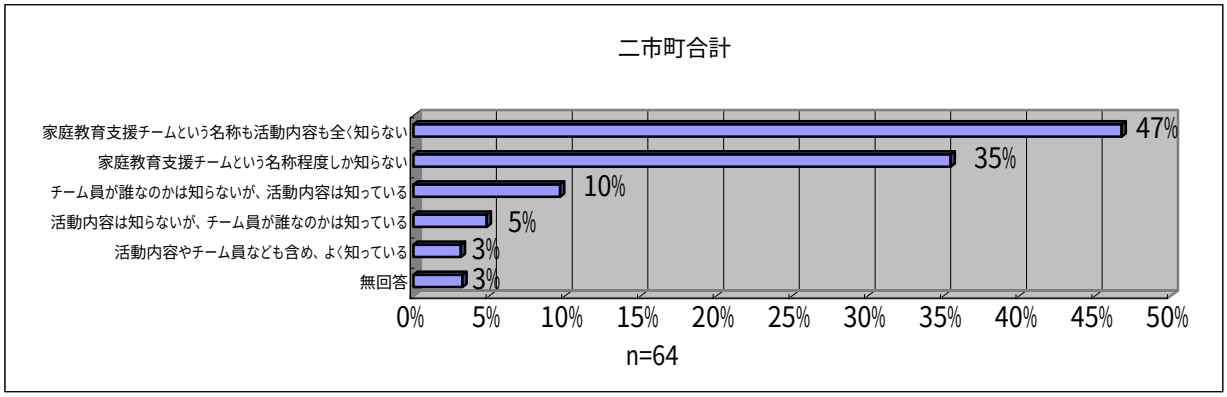
問4　あなたの家庭教育に関する関心度についてお答えください



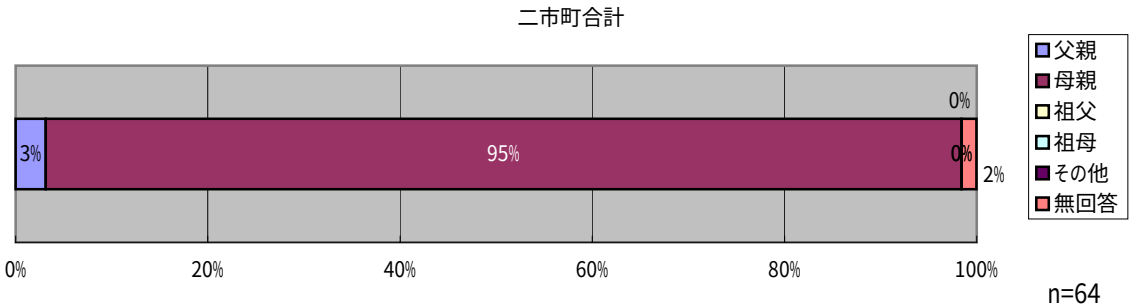
問5　あなたのお住まいの地域等で行われている家庭教育支援施策について、その満足度についてお答えください



④あなたの周りの家庭教育支援チームの認知度について



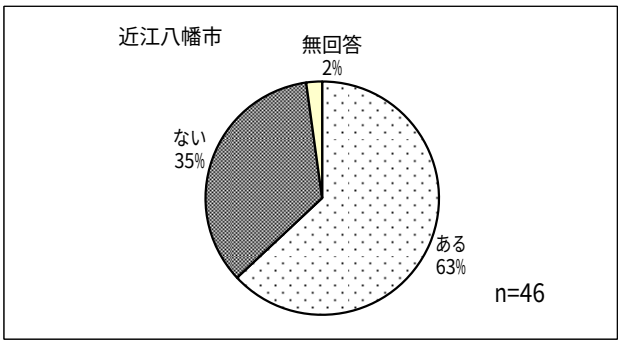
問6　お子さんから見たあなた（記入者）の続柄をお答えください



保護者の子育て・家庭教育に関する意識調査（アンケート）結果集計

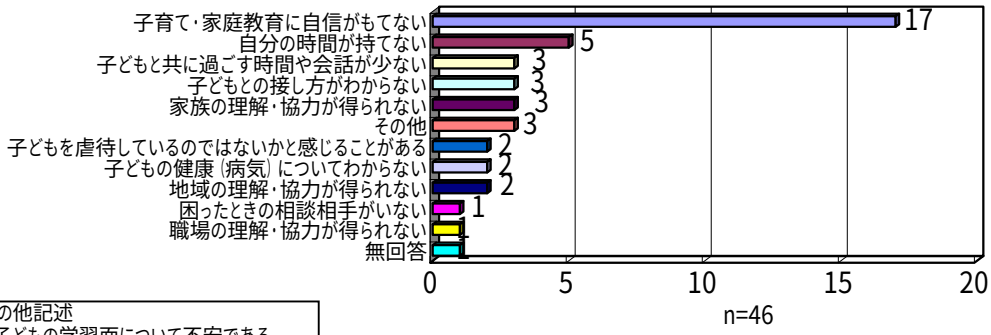
近江八幡市

問1　子育て･家庭教育について、あなたは、困ったことがありますか



①問1で「ある」と答えた方　どのようなことに困っていますか（あてはまるものすべて）

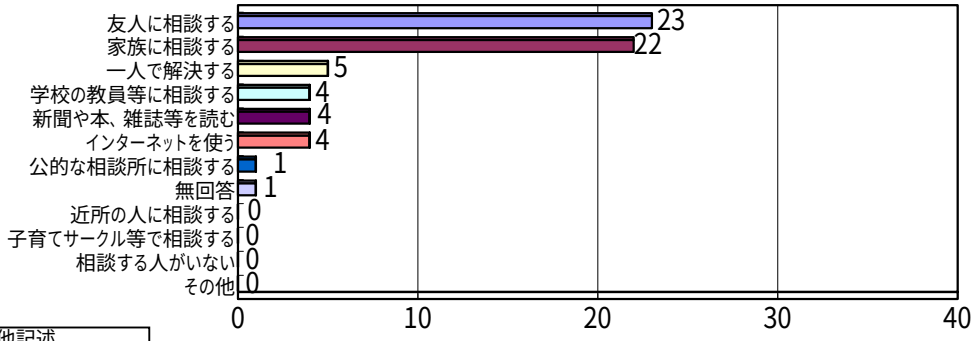
近江八幡市



その他記述
･子どもの学習面について不安である

②問1で「ある」と答えた方　子育て･家庭教育について困ったとき、主にどのようにしていますか（あてはまるものすべて）

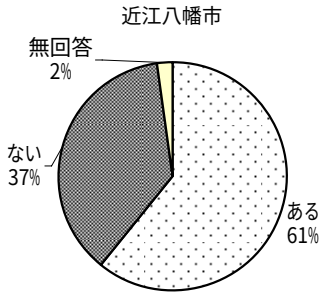
近江八幡市



その他記述
･うやむやにしている

近江八幡市

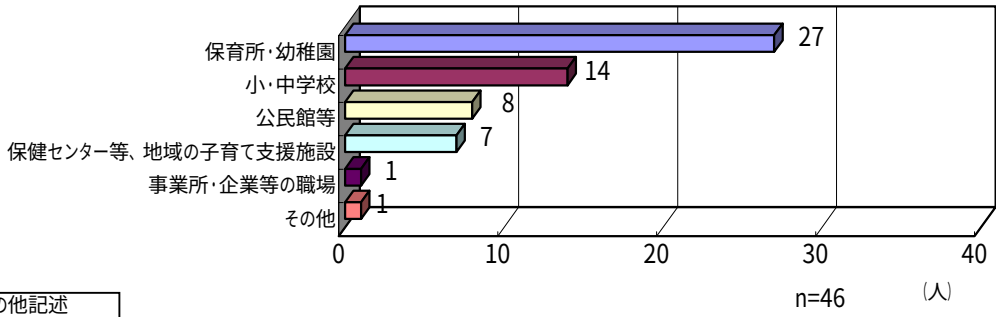
問2　子育て・家庭教育に関する講座や講演会に参加したことがありますか



n=46

問2で「ある」と答えた方　どこで参加しましたか

近江八幡市

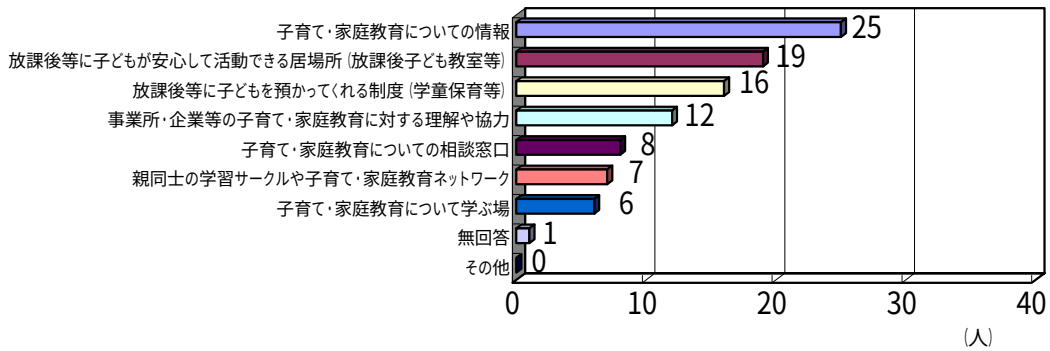


n=46

その他記述
・ＰＴＡ大会

問3　子育て・家庭教育を充実させていくために、どのようなことが必要だと思いますか（あてはまるものすべて）

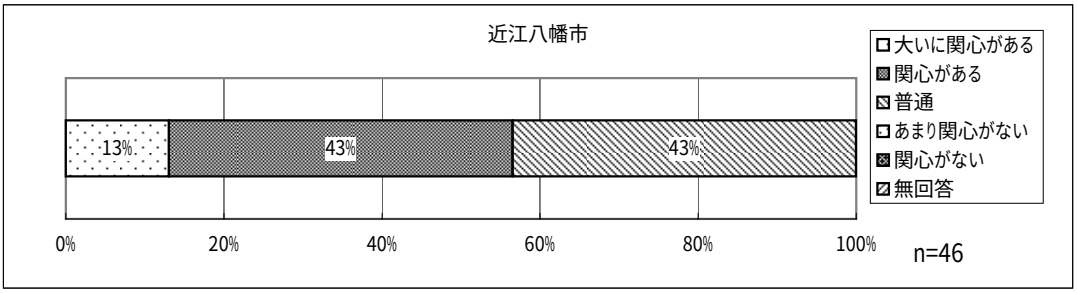
近江八幡市



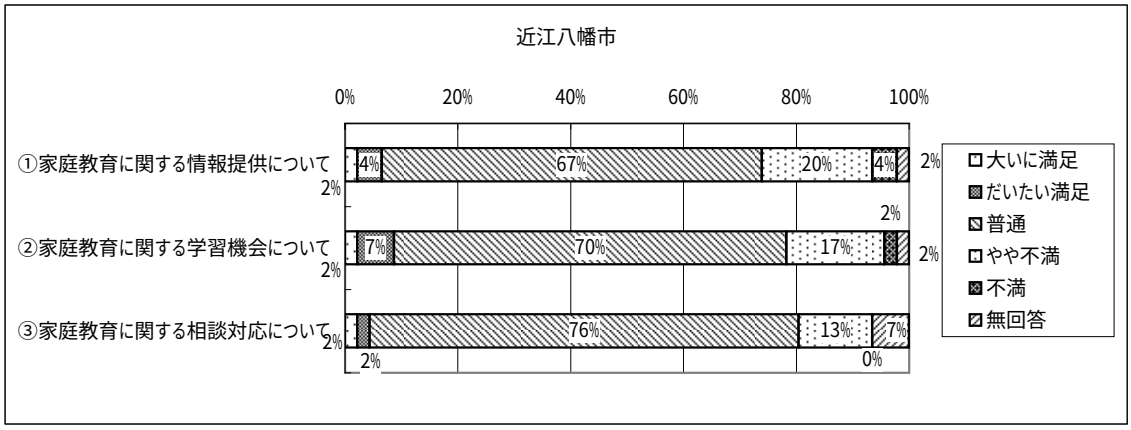
n=46

近江八幡市

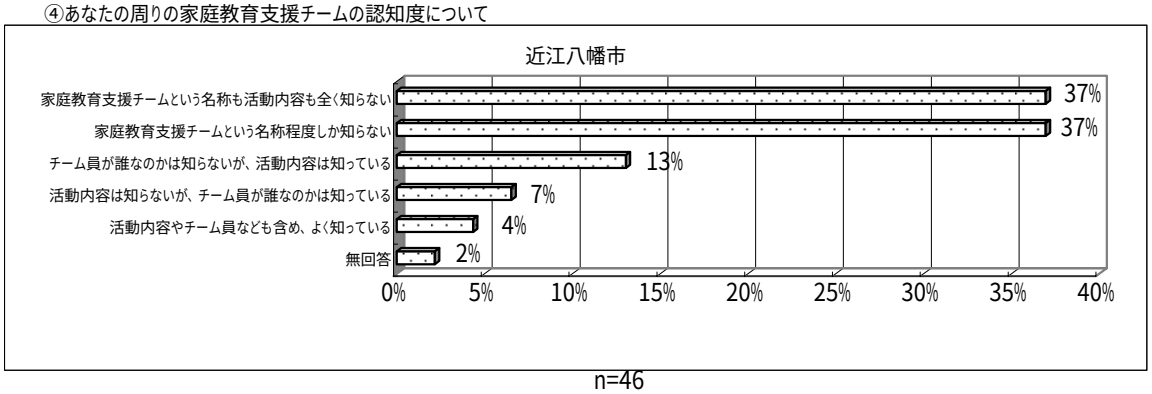
問4　あなたの家庭教育に関する関心度についてお答えください



問5　あなたのお住まいの地域等で行われている家庭教育支援施策について、その満足度についてお答えください

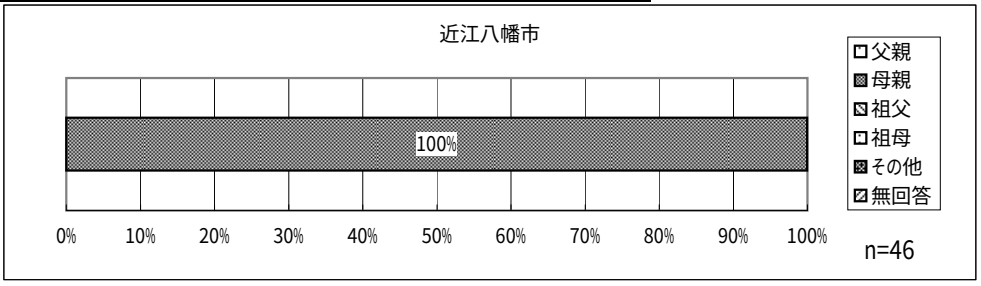


④あなたの周りの家庭教育支援チームの認知度について



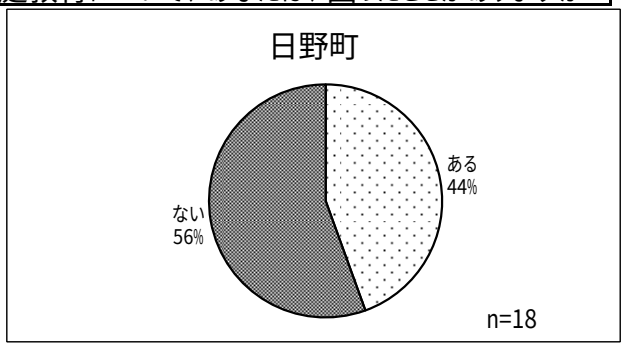
n=46

問6　お子さんから見たあなた（記入者）の続柄をお答えください

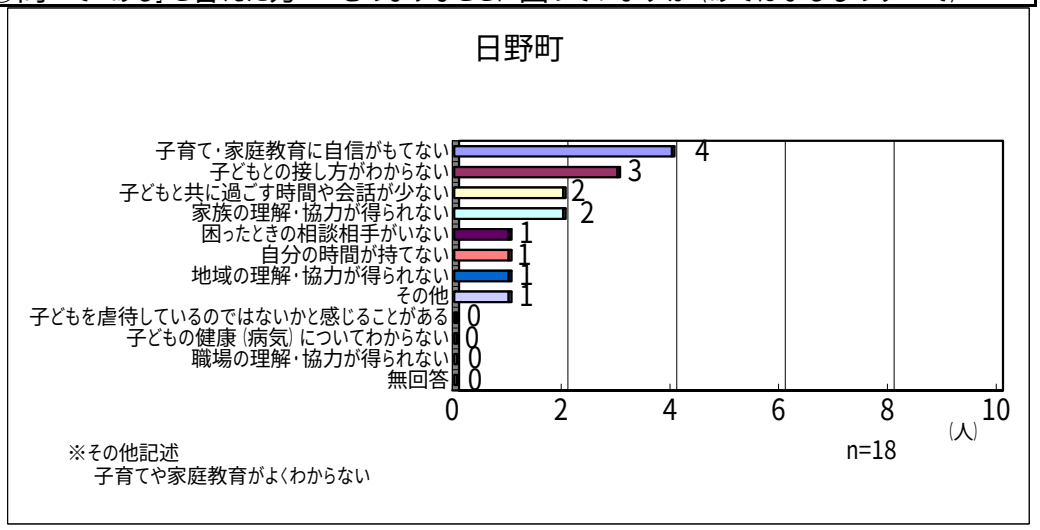


日野町

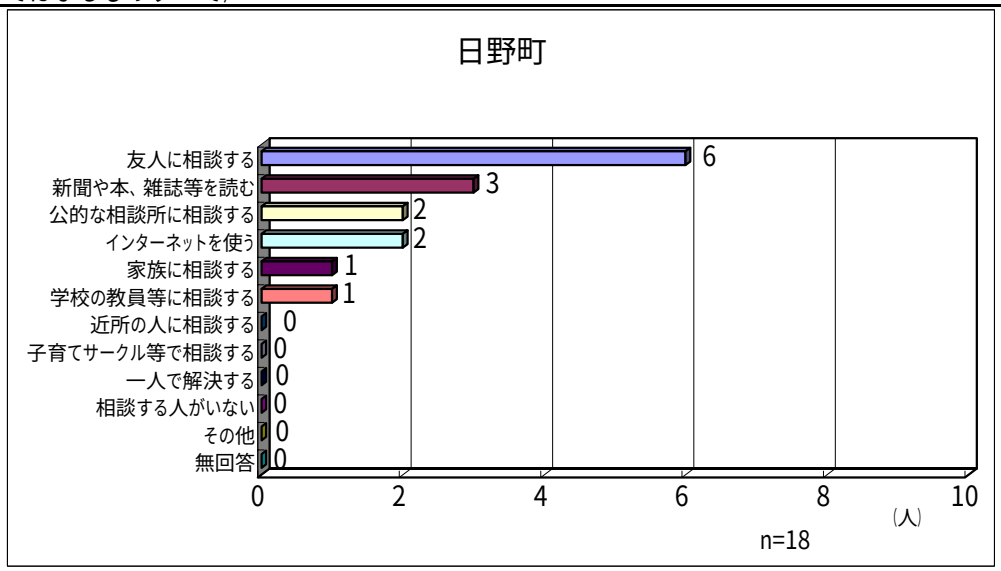
問1　子育て･家庭教育について、あなたは、困ったことがありますか



①問1で「ある」と答えた方　　どのようなことに困っていますか（あてはまるものすべて）

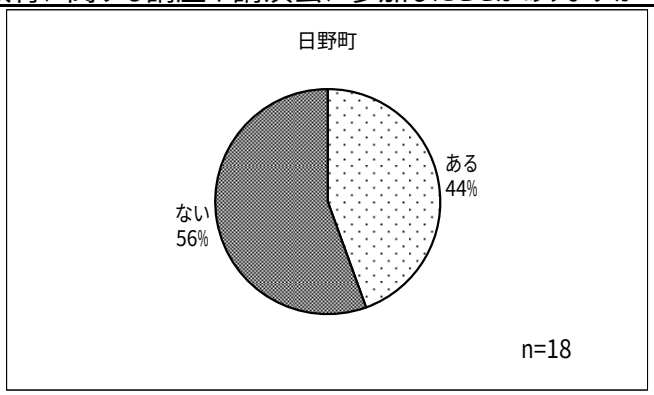


②問1で「ある」と答えた方　　子育て･家庭教育について困ったとき、主にどのようにしていますか（あてはまるものすべて）

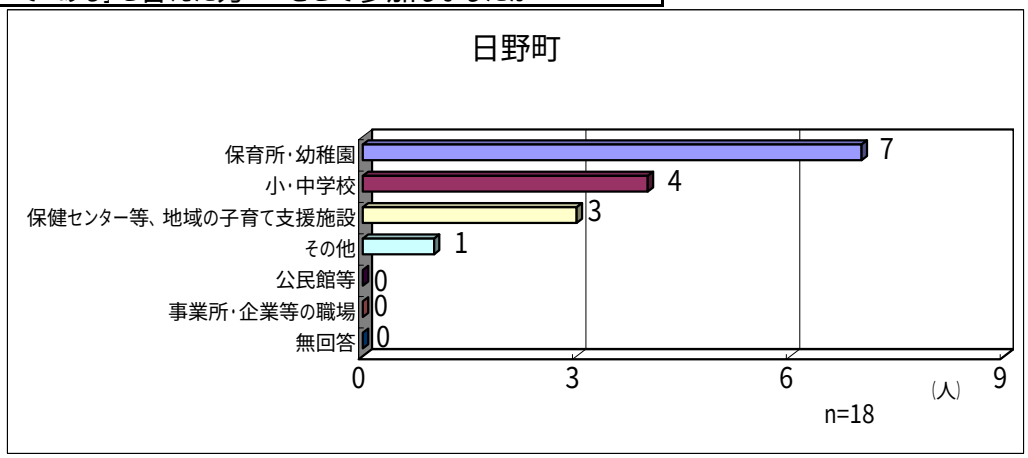


日野町

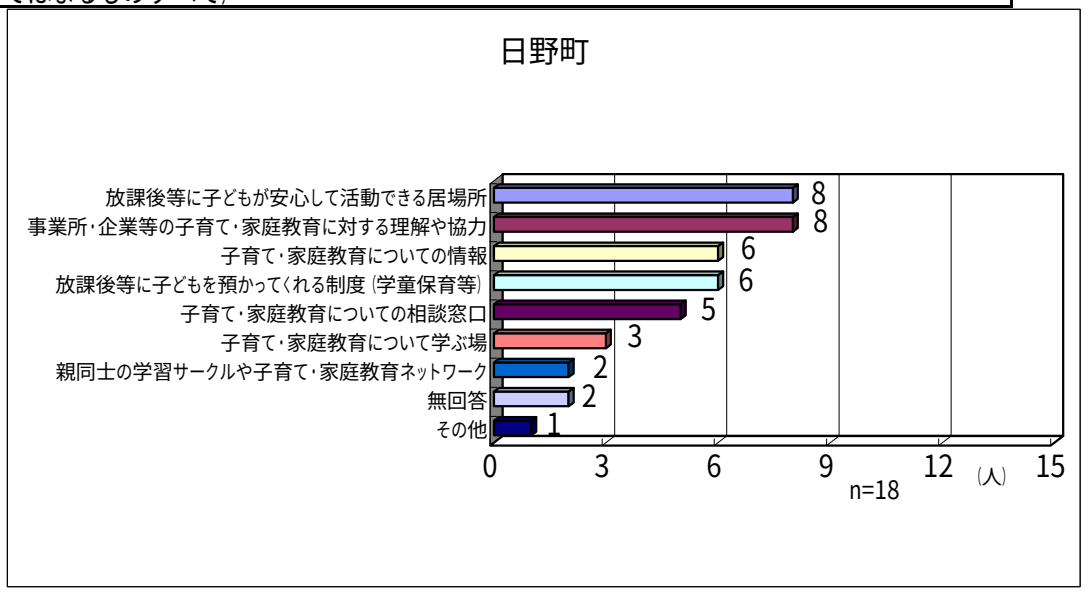
問2　子育て・家庭教育に関する講座や講演会に参加したことがありますか



問2で「ある」と答えた方　　どこで参加しましたか

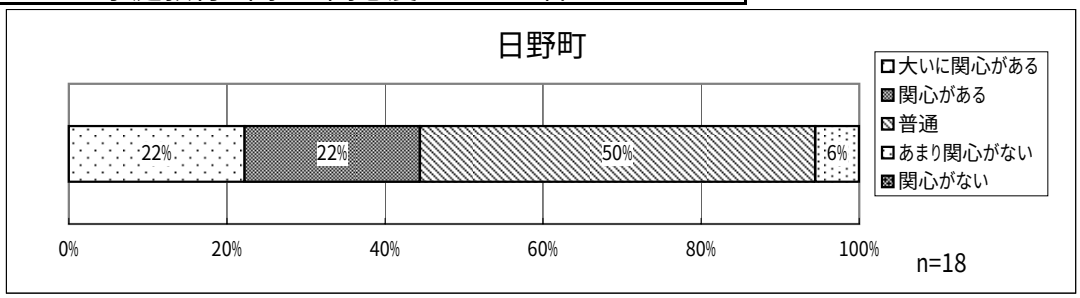


問3　子育て・家庭教育を充実させていくために、どのようなことが必要だと思いますか
（あてはまるものすべて）

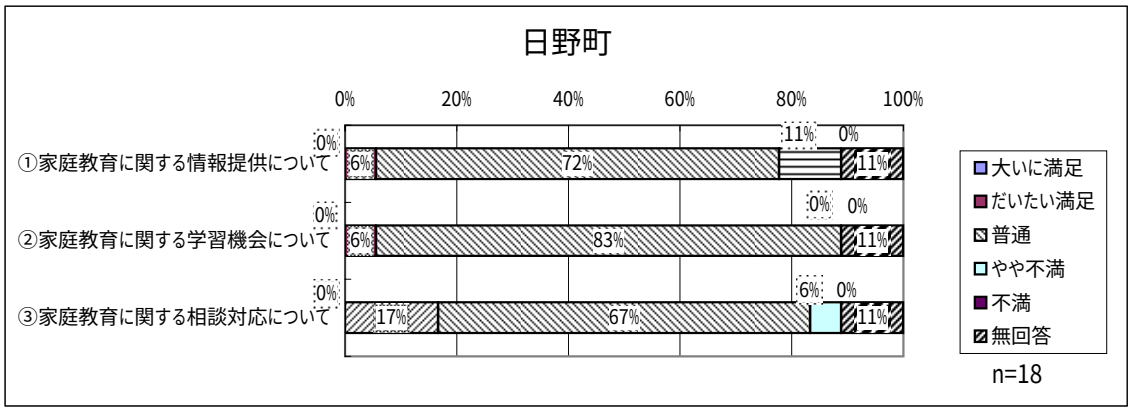


日野町

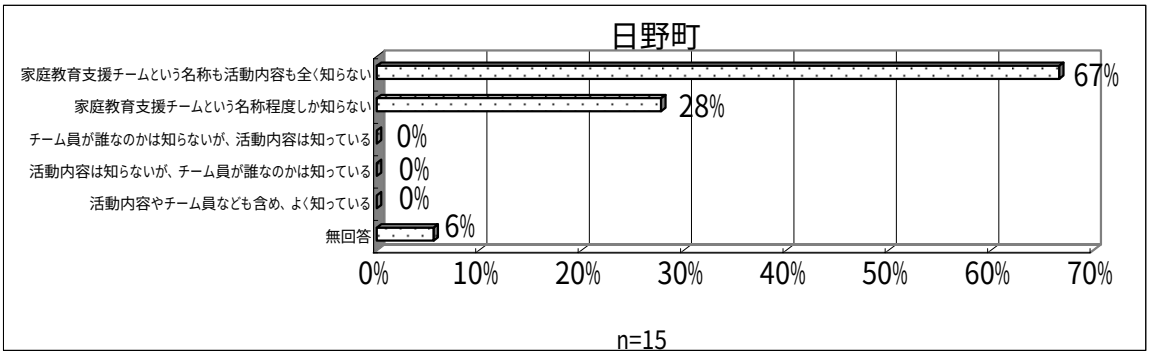
問4　あなたの家庭教育に関する関心度についてお答えください



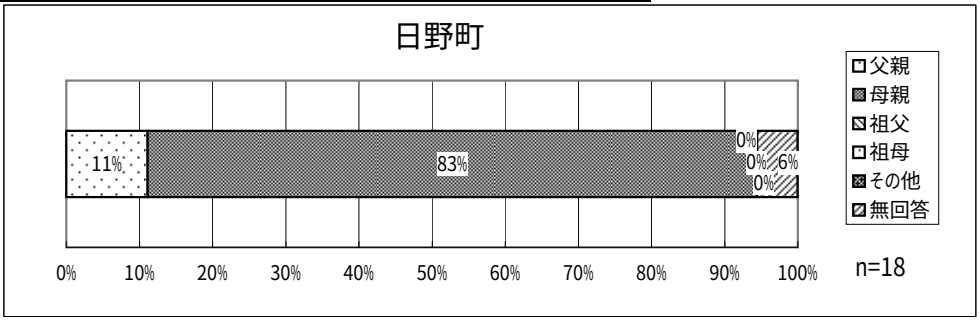
問5　あなたのお住まいの地域等で行われている家庭教育支援施策について、その満足度についてお答えください



④あなたの周りの家庭教育支援チームの認知度について



問6　お子さんから見たあなた（記入者）の続柄をお答えください



保護者の子育てや家庭教育に関する意識調査（アンケート）

《ご記入にあたって》

・アンケートは、保護者のどなたかがお答えください。
・回答は質問にしたがって、あてはまる番号に〇をつけてください。
・家庭教育とは、親やこれに準ずる人が子どもに対して行う教育のことです。

問１　子育てや家庭教育について、あなたは、困ったことがありますか。（どちらかに〇）

１．ある　　２．ない　→　問２へ

▶①　問１で「ある」と答えた方のみお答えください。
どのようなことに困っていますか。（あてはまるものすべてに〇）

１．子育てや家庭教育に自信がもてない
２．困ったときの相談相手がいない
３．自分の時間がもてない
４．子どもと共に過ごす時間や会話が少ない
５．子どもを虐待しているのではないかと感じることがある
６．子どもとの接し方がわからない
７．子どもの健康（病気）についてわからない
８．家族の理解・協力が得られない
９．地域の理解・協力が得られない
10．職場の理解・協力が得られない
11．その他（　　）

▶②　問１で「ある」と答えた方のみお答えください。
子育てや家庭教育について困った時、主にどのようにしていますか。
（あてはまるものすべてに〇）

１．家族に相談する　　２．友人に相談する
３．近所の人に相談する　　４．子育てサークル等で相談する
５．公的な相談所に相談する　　６．学校の教員等に相談する
７．新聞や本、雑誌等を読む　　８．インターネットを使う
９．一人で解決する　　10．相談する人がいない
11．その他（　　）

問２　子育てや家庭教育に関する講座や講演会に参加したことがありますか。（どちらかに〇）

１．ある　　２．ない　→　問３へ

▶ 問２で「ある」と答えた方のみお答えください。
どこで参加しましたか。（参加したことがあるところのすべてに〇）

１．保育所・幼稚園　　２．小・中学校　　３．公民館等
４．保健センター等、地域の子育て支援施設　　５．事業所・企業等の職場
６．その他（　　）

↓　裏の問3へ進んでください。

問３　子育てや家庭教育を充実させていくために、どのようなことが必要だと思いますか。
（必要だと思うものすべてに〇）

１．子育てや家庭教育について学ぶ場
２．子育てや家庭教育についての相談窓口
３．子育てや家庭教育についての情報
４．親同士の学習サークルや子育てや家庭教育ネットワーク
５．放課後等に子どもを預かってくれる制度（学童保育等）
６．放課後等に子どもが安心して活動できる居場所（放課後子ども教室等）
７．事業所・企業等の子育てや家庭教育に対する理解や協力
８．その他（　　）

問４　あなたの家庭教育に関する関心度についてお答えください。（１つに〇）

１.大いに関心がある　２.関心がある　３.普通　４.あまり関心がない　５.関心がない

問５　あなたのお住まいの地域等で行われている家庭教育支援施策について、その満足度についてお答えください。（それぞれ１つに〇）

①家庭教育に関する情報提供について

１.大いに満足　２.だいたい満足　３.普通　４.やや不満　５.不満

②家庭教育に関する学習機会について

１.大いに満足　２.だいたい満足　３.普通　４.やや不満　５.不満

③家庭教育に関する相談対応について

１.大いに満足　２.だいたい満足　３.普通　４.やや不満　５.不満

④あなたの周りの家庭教育支援チームの認知度について

１．活動内容やチーム員なども含め、よく知っている
２．活動内容は知らないが、チーム員が誰なのかは知っている
３．チーム員が誰なのかは知らないが、活動内容は知っている
４．家庭教育支援チームという名称程度しか知らない
５．家庭教育支援チームという名称も活動内容もまったく知らない

※　家庭教育支援チームとは・・・
子育てサポーター等の地域の人材で構成され、行政や関係機関と連携をとりながら、地域でよりきめ細やかな家庭教育支援を行うために、登下校や学習参観、サロン等を利用した情報提供や相談対応、学習機会のコーディネートなどを行っています。

問６　お子さんから見たあなた（記入者）の続柄をお答えください。（１つに〇）

１．父親　２．母親　３．祖父
４．祖母　５．その他（　　）

※ご協力ありがとうございました。お手数ですが、１月２５日（水）までに学級担任へご提出願います。